



# 校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い いつも元気に あかいつ子◆

さくらだいこくん

## 明日は運動会 あかいつ子の元気と笑顔で 皆様を元気に！笑顔に！！

いよいよ5月21日（土）は子どもたちの待ちに待った運動会です。天気予報では好天が予想され、順調に開催できそうです。先日の朝会で、子どもたちには以下のような話をしました。

### 参加することに意義がある ～努力を重ね、あきらめずに頑張ろう～

（略）ところで、皆さんは、「オリンピックは参加することに意義がある」という言葉を聞いたことがありますか？勝負に勝てばうれしいし、負けてしまえばやっぱり悔しい。でも、勝ち負けよりも大切なのは、オリンピックという場に立ち、自分のベストを出すために、努力を重ねること、あきらめずにやりぬくことなのです。努力して努力して、オリンピック、パラリンピックに参加したからこそ、選手たちは、みんな輝いていました。

宮城県出身のスケート選手、羽生結弦選手を知っていますか。羽生選手は、オリンピックで2大会続けて金メダルを取り、「絶対王者」と呼ばれていました。北京オリンピックでも、金メダルを期待されていましたが、ショートプログラムで氷の穴に靴を取られ、大きなミスをしてしまいました。羽生選手でも「これ以上できないくらいの努力をしてきた。報われない努力もあるのか。」と悔しさを口にしました。それでも、羽生選手はあきらめずに、フリーの演技ではこれまで誰も試合では認められていない4回転のアクセルジャンプに挑戦し、着地はできなかったものの、世界で初めて認められたのです。その勇気と、やり切った笑顔は、世界中を感動させました。

では、皆さんの運動会はどうでしょうか。

運動会も同じです。練習も全力で頑張る、最後まであきらめずに走りぬく、あきらめずに力を出すことに意義があります。勝ち負けを超えたところに、努力の素晴らしさがあり、やり切った笑顔の感動があります。そんな頑張りを皆さんに期待しています。赤井っ子の頑張りと頑張った後の輝く笑顔を、会場に応援に来てくださった皆さんの目に、心に焼き付けましょう。

子どもたちにとってこの運動会が「努力してやり切って大きく成長する場」になることを期待します。ぜひ応援にご来校いただき、子どもたち一人一人の頑張りと良さを見付け、ほめてあげてください。ご家族の皆様にもほめていただくことが、子どもたちにとって大きな自信となり、次のチャレンジにつながる意欲になります。



新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、予防のポイントが明らかになってきていることから、今年の運動会は、ご来校される人数の制限を行わずに開催いたします。

運動会を成功させ、また、熱中症や感染症の対策を図るためにも、下記へのご理解とご協力をお願いいたします。

- ご来校される際には、おいでになる方全員の氏名、体温、体調などを記入した用紙を受付にご提出ください。体調の優れない方は、ご来校をお控えください。
- 参観中はマスクの着用、他の方との距離の確保等、予防対策を十分にお取りください。
- 応援は「声援」ではなく「拍手」をお願いします。
- 熱中症予防のため、子どもたちは競技の内容や周囲との間隔に対応してマスクを外す場合があります（徒競走、リレー、「よっちょれ」の5・6年）。ご理解をお願いいたします。



# 赤井小学校はコミュニティ・スクールです！

## Q1 コミュニ・スクール（以下C・S）ってなに？

### A1 「学校運営協議会」が設置された学校

学校運営協議会制度は、一定の法令上の権限を持ちながら、保護者や地域住民が学校運営に参画するための制度です。協議会は、保護者や地域住民で構成され、学校経営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりするといった取り組みが行われます。

東松島市立のすべての小・中学校がC・Sに指定されています。

## Q2 PTA（父母教師会）活動と何が違うの？

### A2 PTAは保護者の組織、C・Sは地域の組織

PTAは保護者と教師が協力して子どもたちの成長と会員相互の資質向上と親睦を図ることを目的とした組織です。一言で言うと↓

「子どもたちの為に、学校の為、先生と一緒に頑張るぞー！」

C・Sは、校長より依頼のあった内容（教育目標はこれでいいか？体験活動をもっとよくしたい？ボランティアはいるか？等）について、地域の「ひと・もの・こと」を使って手を差し出す組織です。

「おらほの学校だ。地域のみんなで助けっちゃ！」

## Q3 赤井小学校のコミュニティ・スクールの特色は？

### A3 赤井5（ファイブ）と困ったことを解決する組織

赤井5（和太鼓活動、俊斎学習、田んぼの学校、SDGs活動、たてわり活動）を講師やボランティアとなって支えています。今年もさっそく5月26日に5年生の田植え（田んぼ+バケツ稲）の指導をしていただきます。

「地域の子どもは地域で育てる応援団だ！」

## Q4 今年の部会や委員は？

### A4 第1回協議会（5月16日開催）で承認された今年度の委員と部会についてお知らせします。

○会長 齋藤 英彦さん ○副会長 外処健一さん、吉田 國夫さん

部 会	和太鼓活動	田んぼの学校	俊斎学習	ボランティア
部 長	相澤宏智さん（P）	遠藤利文さん（地）	外処健一さん（地）	齋藤俊博さん（地）
P:PTA	渥美耕太郎さん（地）	山崎惠章さん（地）	佐藤美智子さん（学）	及川 寿さん（地）
地:地域	横山浩子さん（P）	齋藤英彦さん（地）	高橋洋介さん（P）	齋藤直仁さん（地）
学:学識経験		新沼大希さん（P）		吉田國夫さん（地）

※ボランティア部会には、おやじの会やeおっかあ会、学習・安全・読み聞かせボランティアが入ります。

赤井小のCS学校運営協議会は、子どもたちのため、学校のために「知恵」と「行動力」で学校を支える心強い赤井地域ならではの会です。どこにも負けないCS学校運営協議会です。今後ともお世話になります。

## めざせ！東松島ゴール

先日、市内小中学校の代表によるオンライン会議が開催されました。話し合いでは、メディアとの上手なつきあい方やよりよい生活について意見を出し合い、「東松島ゴール」が決まりました。二中学区として、来週は、「東松島ゴール」を意識した「デジタルメディアチャレンジ」（赤井小は24日～27日）を実施します。一人一人が生活習慣を見直し、よりよくする機会にしてほしいと思います。詳しくは各学級で24日に指導します。



代表 6年 新沼愛梨紗さん